

## 【安田地区】地方創生意見交換会（結果）

日時：平成 27 年 6 月 17 日（水） 19：30～20：38

場所：安田地区公民館 和室

1. 参加者	参加者 27 人、職員 4 人（小松副町長、遠藤企画情報課長、山根、佐藤）
2. 開会	小松副町長（あいさつ） 遠藤課長（資料の説明）
3. 主な意見	<p><b>●コトウラで育む</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・結婚しても子どもができにくい人のため不妊治療対策があるのか、周知は。</li><li>・やはり一番は結婚対策が必要。独身の人本人だけでなく、その親への呼びかけなどが必要では。</li><li>・子どもの授業で、地元産業に触れ合う機会を増やす。興味を持ってもらわないと定住も考えない。農業も経験させてみる。</li><li>・森のようちえんのように、田んぼの幼稚園や、田んぼアートなど、おもしろいことや楽しい経験をさせる。</li><li>・地元の婚活には参加しにくい。広域で開催し、追跡調査や内容の工夫を。毛恋愛心理カウンセラーを呼んだり、体験を通して仲良くなるイベントなど。</li><li>・社会教育の部分で、たくさんある施設を活用して子供会の活動や青少年関係で野外活動をする機会を増やす。大きくなってからの思い出がない。子供会活動の充実。公民館に子どもが集まるように。</li><li>・子ども対象に事業をしようとしても、小中学生になるとスポ少や部活で土日も忙しい。子ども自体も少ないのに、子どもが集まらない。事業を考えても参加者がいないという現状もある。学校側と、そのあたりどうにかならないか。</li><li>・出産祝金は 1 人目からはどうか。</li><li>・婚活はテレビ番組（ナイナイなど）を活用し、本気で取り組む。</li></ul> <p><b>●コトウラで創る</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大きな病院が 1 つ建てば人も集まり、仕事も生まれ、魅力になる。</li><li>・空き家と荒廃農地を一体的に整備し、希望する人に提供する。</li></ul> <p><b>●コトウラで輝く</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・船上山の天井屋敷までを観光の魅力の 1 つとして整備を。道しるべや歴史を知らせ、ここにしかない魅力を見つけることが大切。</li><li>・以前、安田小学校の保護者等が協力して「わいわいカーニバル」という催しがあった。マスつかみや屋台や星の観測など、保護者が頑張って準備している姿が記憶に残り、一緒に準備することで知らない地区の保護者と触れ合えた。</li></ul>

	<p>祭りがあれば地域としての活力となる。</p>
	<p><b>●コトウラに根づく</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住定住を試す場所をつくり（お試し住宅）、野菜の収穫体験などをしてもらい、そこに世話役をつける。自分のことを分かってくれる地域でないと住まないのでは。生活環境の違いをサポートする人が必要。</li> </ul>
<p>4. その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉プールの設置を望む。</li> <li>・4つのテーマはすべて関連づいており、それぞれ一体的に取り組むべき。</li> </ul>